

新型コロナウイルス感染症患者（社会福祉施設関係）の発生について（第2報）

令和2年4月15日（水）午前中に公表した、社会福祉施設に係る新たな患者の概要等は次のとおりである。

1 患者概要

(1) 年代及び性別

区分	入所者 (77人検査)		職員 (39人検査)		合計 (116人検査)		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	計
20歳代	8	1	1	2	9	3	12
30歳代	9	—	2	1	11	1	12
40歳代	7	1	2	1	9	2	11
50歳代	1	1	—	2	1	3	4
60歳代	—	—	1	—	1	—	1
計	25	3	6	6	31	9	40

(2) 居住地：入所者については、広島市
職員については、現在調査中

(3) 症状：現在調査中

2 経過等

4月14日（火）入所者及び職員についてPCR検査を実施した結果、新型コロナウイルス陽性と判明

※入所者28名については、当該社会福祉施設内で発症したことから、当該施設か感染症指定医療機関等のベッドの空き状況などを考慮しながら対応する。

※職員12名については、感染症指定医療機関又は施設内で療養等している。

※本人等からの申告によれば、発症前14日以内に渡航歴はない。

3 今後の対応

- ・現在までに確認できた患者の行動歴をもとに、濃厚接触者あるいはその可能性のある者に対し、患者との接触状況や健康状態についての把握など、逐次、積極的疫学調査を実施しているところである。
- ・更に患者の詳細な行動歴の確認を行った上で積極的疫学調査を行い、その結果をもとに、当該濃厚接触者に対する、健康観察（毎日の体温確認等）と、必要に応じてPCR検査を適切に実施することとしている。
- ・この調査により把握した感染拡大防止のために必要な情報は、速やかに市民に広く提供することとしている。